

# 八潮市庁舎建設基本計画(素案)のパブリックコメント実施結果と対応について

## 1 意見募集期間

平成31年1月18日から平成31年2月18日まで(32日間)

## 2 意見提出者・件数

提出者数 8人  
意見件数 27件

## 3 意見と市の考え方

### 反映区分

- A:意見を反映し、案を修正する(した)
- B:すでに案で対応している
- C:基本設計の段階で検討していく
- D:意見を反映できなかった(しない)
- E:その他

## パブリックコメントの意見と対応

意見番号	箇所	ご意見の要旨	市の対応・考え方	反映区分
1	P 3 P 4	市役所、保健センター等は素案通りに集約する建物が良いと思います。ショッピングセンター等は駅近所でよいと思います。	保健センターにつきましては、八潮市新庁舎複合・集約化方針(平成30年8月決定)において、市役所近くに集約することを決定しております。 具体的な配置等につきましては、今後設計の段階において、検討してまいります。	C
2	P 1 1	1F2F位は(お客様フロア)極力天井を高く、間仕切りをなくして、オープンフロアにしてもらって、天井等の案内板(電子盤)をわかり易くしてくれますか、お願いします。	利便施設や設備の機能につきましては、市役所を利用される方の利便性を向上するうえで重要であると考えます。 導入する施設や設備につきましては、今後設計の段階において具体的に検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	C
3	P 1 3	(1)市民サービス機能 6)利便施設・設備 ■八潮市の地場産の製品が購入できるアンテナショップの設置 ・市街の方に八潮市の手土産を渡す際に利用できるような商品の販売 ・ここでしか買うことのできない製品(直売していない)などがあっても良い(例、白玉粉など) ■多くの金融機関に対応できるATMの設置 ・市役所周辺にコンビニがないことから、現金の引き出しなどに困る		C
4	P 1 6	6)利便施設・設備について 窓口へ申請書類提出する際に、書類の再確認を行う場合があるため 待合スペースに申請書類を整理することができる軽作業スペースの整備を検討してほしい。		C
5	P 1 2	建物は後々の維持管理がし易い様にして、働らく方又来庁者の方々の為にバリアフリーを第1に考えてもらいたいです。	メンテナンスのしやすさにつきましては、施設の長寿命化やランニングコストの低減等の観点において重要であると考えます。 また、バリアフリーにつきましては、2.2.4求められる機能のまとめの(1)市民サービス機能の5)ユニバーサルデザインで言及しており、「だれもが利用しやすい施設」とするため、今後設計の段階において具体的に検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	C
6	P 1 2 P 1 3 P 1 6 P 1 7	各階で仕切りは市長室、応接間は区切ってもいいですが、それ以外は移動仕切りがその都度移動できる様に、極力オープンフロアにしてください。また、来庁者が使える休憩室フロア、育児室は広く、目立所に設けてください。	利用形態の変化について柔軟な対応が可能な施設とすることが重要であると考えます。 具体的な機能につきましては、今後設計の段階において検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	C
7	P 1 2 P 3 0	デザインについて 「八潮らしさを感じる庁舎」とされていますが、「八潮らしさ」とは何でしょうか。あえて言うなら、素朴で周辺地域から浮き上がらない事だと私は思っています。すべての市民に使いやすいユニバーサルデザインにしてください。 八潮駅まえ公園のトイレに見られる「建築できないデザイン」や、使えない「生涯学習館3階」など論外です。	「八潮らしさ」につきましては、今後設計の段階において市民の皆さんからご意見を伺いながら、具現化したいと考えております。 また、ユニバーサルデザインにつきましては、2.2.4求められる機能のまとめの(1)市民サービス機能の5)ユニバーサルデザインで言及しており、「だれもが利用しやすい施設」とするため、今後設計の段階において具体的に検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	C

意見番号	箇所	ご意見の要旨	市の対応・考え方	反映区分
8	P 1 3	公共交通網の整備について 八潮市の「中心核」とするのですから、市民が訪れ易くする必要があります。高齢者に「運転免許証返納」を勧める時代です。市内のどの地域に住んでいても気軽に「バスで行きバスで帰る」ことが出来るよう「全てのバスは市役所に止まる」公共交通網の整備と増便を、バス事業者に申し入れるとともに、市としての対策を具体化してください。	2.2.4求められる機能のまとめの(1)市民サービス機能の6) 利便施設・設備の③において、バス利用者の利便性の向上について言及しており、今後設計の段階においてバス事業者をはじめ、関係機関と検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	C
9	P 2 2	建設場所 ■駅周辺の八潮中心核から離れた場所をシビックセンターとするならバスの利便性向上はとても重要である シビックセンターとしての機能を充実させ、駅周辺に集まりがちな人口と活気を分散させる役割も担って欲しい。		
10	P 1 5	災害時の防災拠点としての八潮市庁舎の機能維持に向けて、庁舎の耐震性の確保に加え、バックアップ機能を強化するとの考えに賛同いたします。 記述にあるとおり、万が一停電が発生しても庁舎への電力供給が可能な自家発電設備を整備することは、BCP強化の観点から大変重要な施策であると考えます。 自家発電設備としては、埼玉県地域防災計画に「電力供給の安定化に向けたエネルギーの多重化」が示されていることを受け、都市ガスで電気と熱を製造するコージェネレーションシステムを検討いただきたいと考えます。 大地震発生時でも供給が途絶えない中圧ガス配管との組み合わせによって、災害時でも平常時と変わらず庁舎に電気と熱を継続して供給することが可能です。 コージェネレーションについては、国土強靱化基本計画でもその導入促進が謳われています。 災害時でも機能不全に陥らない重要な対策であるとの認識を受け、他自治体でも多数導入されています。 災害時の機能継続、そして八潮市民の生活の維持に向けて、エネルギー多重化を見据えた検討を行っていただきたいと考えます。	災害時の対策拠点としての庁舎機能を維持していくことは大変重要であると考えます。 具体的な機能につきましては、今後設計の段階において検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	C
11	P 1 6	全館に必要な個所には必ずカメラ（見られているというクレームが来る位の台数）を多く設置して、一見で見られるようにモニターを多く設置して下さい。職員の方々にはお互いしげり合う事も必要です。	利用者の方々には不安を与えてしまう窓口トラブルを抑止することについては大変重要であると考えます。 カメラの設置につきましては、今後設計の段階において検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	C
12	P 1 6	極力、天井が高いフロアにしてもらいたいと思うのは人間考える時は上を向く習性があり、仕事をするには上を向いて、いい考えが思いついて効率よく仕事ができれば能率が上がると思います。 同時に正面、下面に世の中の視野も広く見てもらいたい、身の回りも良く見てもらえば、住みよい八潮が出きると思います。	機能的で働きやすい執務スペースとすることは大変重要であると考えます。 具体的な執務機能につきましては、今後設計の段階において検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	C
13	P 1 6 P 1 7 P 1 9	庁舎内で働らく人の使い易さ、機能が各個所で調整できるようにして下さい。 居る所は明るく、居ない所は節電できるように冷暖房も各フロア、各個所調整できるようにして下さい。又、女性職員の方が働き易いように重要視して下さい。 フロアコンセント、フロア掃除機、スポット暖房等、細く設置して下さい。		C

意見番号	箇所	ご意見の要旨	市の対応・考え方	反映区分
14	P 1 7	(4) 行政執行機能 2) 会議・打合せスペース ■有効的に活用し、空室を減らす ・空室が多い場合、予約にて市内のビジネスシーンなどに開放できる予約システム導入も視野に入れて欲しい	会議・打合せスペースの機能につきましては、空室状態の少ない、効率的な運用が大変重要であると考えます。 会議スペースの一般的な開放等につきましては、今後設計段階において検討を進めてまいりますので、参考とさせていただきます。	C
15	P 1 7	4) 福利厚生 ■食堂や子供を預かる施設などは、市民も一緒に使えるものがよい	福利厚生機能につきましては、職員の今後の「はたらき方」に関して重要な役割を持ちます。 これらの機能の使い方につきましては、今後設計段階において検討を進めてまいりますので、参考とさせていただきます。	C
16	P 1 8	5) 議会機能 ■議会だけでなく規模の小さい市民説明会など、かしまった内容の場合にも 乳幼児を同伴したまま参加できる場所であるとさまざまな世代の市民が参加しやすくなる。	小さなお子様をお連れになられる方が、市民説明会等に参加しやすい環境にしておくため、今後の参考とさせていただきます。	E
17	P 1 9	パリ協定の発効により、CO2排出削減に向けた動きは一層加速していますが、国だけでなく、地方自治体においても市民に率先して省エネルギー等の温暖化対策に取り組んでいくことが求められます。 その中で、八潮市庁舎の建設、運営に際し地球環境に配慮するとの姿勢に賛同いたします。 「省資源・省エネルギー施設・設備の導入」にあたっては、2018年7月改定の第五次エネルギー基本計画で「熱電利用を同時に行うことによりエネルギーを最も効率的に活用することができる方法の一つ」と記されているコージェネレーションシステムの導入について検討いただきたいと考えます。 八潮市第2次環境基本計画にも、公共施設の省エネルギー推進施策として「コージェネレーションシステムなどの導入を図ります」と示されており、八潮市の環境に配慮した施策と合致するものと考えます。	環境に与える負荷の軽減は大変重要であると考えます。 具体的な機能につきましては、今後設計の段階において検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	C
18	P 1 9 P 3 7	ランニングコストについて 再生可能エネルギーを取り入れることは重要です。併せてメンテナンスしやすい事も大切です。メセナのように雨漏りしやすく高額な補修工事を繰り返す事がないようお願いします。	再生可能エネルギーの導入は光熱費の低減や環境負荷の低減という観点において大変重要であると考えます。 また、メンテナンスのしやすさにつきましては、施設の長寿命化やランニングコストの低減等の観点において重要であると考えます。 今後設計の段階において双方検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	C
19	P 3 0	建築デザイン計画 ■メンテナンスやリフォームしやすい作りが良い・新しい時は良いけれど、年月が経過するとニーズにも変化があるため、丈夫な建物を作り、中身はマメにメンテナンスやリフォームをして、いつまでも綺麗に大切にされ好感の持てる市庁舎であって欲しい。		C
20	P 2 1	(8) その他の庁舎機能 2) 市のイメージアップ ■現在のボララックに置けないようなチラシ（営利目的など）も扱えるチラシラックの設置何部いくらなど有料でもいいので、市内の情報が集まる場所となって欲しい。	市に関連するあらゆる情報発信は大変重要であると考えます。 発信方法等につきましては、他市事例等を参考に検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	C
21	P 2 6	現在の市役所入り口は交差点内に有り、埼玉県安全条例（交差点から5m以上）違反です。	市役所敷地の入り口につきましては、歩行者及び車両の双方が安全に通行できるよう、設計の段階において検討してまいります。	C

意見番号	箇所	ご意見の要旨	市の対応・考え方	反映区分
22	P 2 6	(2) 動線計画について 建設される新庁舎とメセナ・中央公園が現状の様な道路で分断されないように検討してほしい。 また、バス停設置に当たっては新庁舎玄関に直結できる位置に設置してほしい。	新しい市役所と八潮メセナ、中央公園のつながりは大変重要であると考えます。 市役所の配置や各施設相互の役割等につきましては、今後設計の段階において検討を進めてまいりますので、参考とさせていただきます。 また、2.2.4求められる機能のまための(1)市民サービス機能の6) 利便施設・設備の③において、バス利用者の利便性の向上について言及しており、今後設計の段階においてバス事業者をはじめ、関係機関と検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	
23	P 3 1	中央公園の利用計画について。 『緑を身近に感じられる緑地空間を創出する』とありますが一時駐車場として利用することから想像するに、また、昨今の八潮市内の公園(駅前公園、南部22号公園等)の計画の様子を見ると樹木を最小限にし、しっかり舗装をしてとやや無機質に感じる方向性にあるように感じます。現在中央公園はダーティな印象があるのは確かですが、樹木の生い茂る様は他の公園にはない特徴となっているのではないかと思います。管理のし易さ安全面での見通しの良さ等への配慮を考えると難しくなるのかとは思いますが、他の公園とすみ分けられる樹木の残る公園として利用できれば素敵だと個人的には思います。また、理想ですが、八潮駅から一本道でつながる立地を生かし、中央公園の緑地へとつながるように同種の街路樹が立ち並び、離れた二つの拠点が物理的にもつながる様な表現ができれば素敵だと思っています。		C
24	P 2 9	2. 5. 2 断面構成の考え方について 議会閉会中の議場等の諸室について、メセナの会議室との一体的に活用ができる配置・動線にしてほしい。	議会閉会中の議場等の諸室について、会議や研修等の場としての多目的な活用につきましては、今後設計の段階において検討してまいりますので、参考とさせていただきます。	C
25	P 3 4	20m程度までの低い建物で、免震構造計画は再考すべきである。 [理由] 2016年4月21日の熊本地震は、震源の深さ10kmのごく浅い直下型の横ずれ型地震で、30kmの長い断層が生じました。 これまで観測されたことの無い3秒以上の長いうねりの様な揺れ、「長周期パルス」が観測されたと報じられました。 長周期パルスは建造物が地盤面で激しい剪断破壊に襲われ、最初の一撃で瞬間的に大きな揺れが起こり、逃げる間もなく破壊が起きると言います。 今日免震構造のビルが主流ですが、その免震ゴムが大きく揺れて基礎構造側壁に激突し、上部建物に深刻な被害を与える恐れがあります。 活断層が動いて地表面に数キロ断層が発生する可能性があるとされます。 2016年12月21日鳥取県中部地震が発生しました。震源の深さは10km・マグニチュード6.6震度6弱、10kmに及ぶ横ズレ断層型地震でした。 この地震の教訓は、この付近に活断層は見えておらず、気象庁は「今回の様な地震は活断層が無いところでも起きる」としている事です。 つまり、日本のどんな場所でも直下型地震が起きる可能性が有るということです。	大地震後の業務継続性を重視し、免震構造を備えた庁舎としてまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りたいと思います。 また、建物の構造等については設計の段階において事例等を踏まえて複数の視点で検討してまいります。	D

意見 番号	箇所	ご意見の要旨	市の対応・考え方	反映 区分
26	その他	<p>表題の建設基本計画書の中に記されているシビックセンターという名前・名称に反対します（シビックセンターとは市役所建替えの市民説明会と表示された補足文書に「市役所周辺の公共・文化施設などが集積する地区」をシビックセンターとして形成します。の文言を知った上での意見です）</p> <p>シビックセンターと言う名は体を現していないので没にして体を現した日本語の表示名にすべきである 体を現すとはなにをした地区なのか、またなにをする地区なのか解かるような名前を指して言っています シビックセンターと言う名からは「住みやすさナンバー1のまち八潮」を目指している八潮市の想いがまったく創造ができません。</p> <p>例えば1 市民憲章発信地区</p> <p>例えば2 市民憲章には「わたくしたちは、八潮市民であることに誇りと自覚をもち、明るく住みよい、豊かで平和なまちを築くため、この憲章を定めます」とあります。 また第5次八潮市総合計画の将来都市像では「住みやすさナンバー1のまち八潮」と唱っています 市民憲章には「明るく住みよい」があり第5次八潮市総合計画には「住みやすさ」があります このことから「住みよい八潮創る地区」「住みよい八潮実現地区」「住みよい八潮創造地区」「住みよさ創る行政地区」というような名前を考えてみました。</p> <p>公募提案1 八潮市民憲章や第5次八潮市総合計画の基本理念を日本語で現す地区名を市民に広く公募されたいかがですか 公募提案2 公募を提案するもう一つの理由は今の市役所のある区画整理前の地権者の方々や足跡を残された方々、 区画整理や中央への町名変更も合意承認された方々は今、市で唱えている協働の先駆者であり先輩です。 町名変更ではなく地区名の話ですがカタカナ語でなく日本語での地区名を公募されたいかがですか。</p> <p>【添付文書】</p> <p>この添付した文書は自分用に自分で検証する為に作った文書ですが「シビックセンター」を「住みよい八潮創る地区」に言い換えています 「住みよい八潮創る地区」とは市庁舎を中心とした公共施設群や公園等が一体となっていて第5次八潮市総合計画に唱っている「住みやすさナンバー1のまち八潮」を実現する機関車の役目をはたす地区地域を言います、と言い換えています。</p>	<p>計画などの市の考えを示す際、分かりやすい用語を使うことは大変重要であると考えます。 今後において市の考えを説明する際の参考とさせていただきます。</p>	E
27	その他	<p>エスキース段階で公表し、変更も含め市民の意見を聞く機会を設けること。</p>	<p>市民の皆さんから広くご意見を伺いながら、設計を進めてまいりたいと考えております。</p>	C